

北九州市・下関市で「練習船 大島丸」体験航海を実施

当協会では、日本の暮らしと産業を支える海運をはじめとする海事産業の重要性や魅力を一般の方にも知っていただけるよう、関係団体等と協力し、海事施設の見学会等を実施しています。

今般、当協会は、7月27日(土)北九州市、翌28日(日)下関市において、北九州市港湾空港局・下関市港湾局・九州海事広報協会・大島商船高等専門学校等と協力し、「練習船 大島丸」の体験航海等を実施、北九州市では約80名、下関市では約70名が参加しましたので、その模様をお知らせします。



乗船中の説明の様子

両日の体験航海では、参加者が乗船中の諸注意等について説明を受けた後、船を操縦する「船橋（ブリッジ）」や実習生の宿泊スペースなど「船内」を自由に見学しました。



港を甲板から見学

参加者は、船上から、関門海峡を行き交うコンテナ船・ばら積み船など様々な船を間近で見学し、それらの船や港の様子を観察したりしていました。2023年3月に竣工したばかりの船内では、最新の航海機器や、実習中に学生が使用する居室などを見学することができました。

また、上記の見学会に加えて、27日には大島商船高専の出張オープンキャンパスが、28日には海洋少年団の体験乗船が大島丸で実施されました。



船橋で操船の様子を見学

当協会は、資料配布やロープワーク教室の開催などで協力を行いました。参加者からは、「関門海峡を多くの船が通航していることに驚いた」「ロープワークで体験した本結びは着物でも使う

むすび方で面白い」「体験航海に参加して船に興味が出た。帰ったら資料を読みたい」といった声が聞かれました。

当協会では、今後とも皆様の日々の生活を支える海運を広く知っていただくための活動を実施してまいります。

以上